

教科 科		美術 I		単位数	2	学科・学年	全科・2学年	担当者	土澤典雄					
使用教科書						副教材		自作資料教材と自作作業教材						
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)											評価の重点			
①制作や鑑賞の授業を通して美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育むとともに、感性や創造力を伸ばす。 ②観察力や思考力を鍛え、眼で見たものの色や形を感知理解し、それを表現に結びつけるための技能を身につける。 ③他者が真摯に制作した作品を敬愛尊重し、「人やものを大切に作る」という心情や態度を身につける。 ④授業への取り組み状況が、結果的に自分の作品の出来栄として現われる事を理解する。⇒ 作品評価											関心・意欲・態度	美的感性・獨創性	造形力・表現力	鑑賞の態度・能力
学期	月	学習領域	学習項目・単元名	予定時数	主な学習活動 <教材・教具>			評価方法						
前期中間	4	鑑賞	授業ガイダンス	1	授業の受け方・評価について									
		表現	レタリング	4	明朝体の表現 <スケッチボックス、マジック>			作品評価			◎			
		鑑賞	VTR鑑賞①(西洋美術)	1	バプロ・ピカソ			レポート評価	○		○			
	5	表現	鉛筆デッサン	2	①石膏幾何形体模型 <F6画用紙、鉛筆HB、消しゴム>			作品評価	○		◎			
		表現(絵画)	彩色模写 「青いターバンの少女」 フェルメール	6	①輪郭線トレースダウン <黒ラシヤ紙(八切)・マスキングテープ・鉛筆(2B)> ①見本用紙の裏に鉛筆を塗る ②黒ラシヤ紙に①を貼り、表側から輪郭線をトレースダウン ③色鉛筆演習 <黒ラシヤ紙・色鉛筆(白)> ④テキスト図版の明暗や色彩を見て、色鉛筆で彩色 <色鉛筆(12色)>			作品評価	○	○	◎			
前期末	6	鑑賞	VTR鑑賞③(西洋の画家)	2	モジリアーニ			レポート評価	○		○			
		鑑賞	VTR鑑賞⑤(日本の画家)	1	松本竣介			レポート評価	○		○			
	7	表現(絵画)	貼り絵	9	貼り絵 <F6ケント紙・広告チラシ・のり> (作品規格20Cm×20Cm枠内) ・モチーフ自由 ・明暗を意識した配色 ・貼り付け(計画性・丁寧さ)			作品評価	○	◎	◎			
					8									
後期中間	9	鑑賞	VTR鑑賞⑥(日本の彫刻家)	2	舟越保武			レポート評価	○		○			
			VTR鑑賞④(日本のデザイナー)	2	中村誠・福田繁雄、(田中一光)			レポート評価	○		○			
			県立美術館見学	2	企画展(アントニオ・ロベス展) 常設展(萬鐵五郎・松本竣介・舟越保武)			レポート評価	○		○			
	10	表現(デザイン)	ロゴタイプのデザイン	7	自分の「部 or 科」のロゴをデザイン <ケント紙 ペン・ポスターカラー 書体ソフト> ①クロッキー用紙にラフスケッチ(アイデアの展開) ②下描き <ケント紙・鉛筆・定規・コンパス> ③輪郭線 <ペン・定規・コンパス> ④ベタ <ポスターカラー(黒)> → ⑤修正			作品評価	○	◎	◎			
					11									
後期末	11	表現(絵画)	自画像	5	水彩絵具の演習 <トランヴェール> ・淡彩描法(にじみぼかし) 自画像 <F6画用紙> ①構図(ポーズ)を決める <鏡> ②下描き <鉛筆> ③淡彩風に着色 <水彩絵具(トランヴェール)>			作品評価	○	◎	◎			
		鑑賞	VTR鑑賞⑦(日本美術)	1	運慶(東大寺南大門仁王像修復)				○		○			
	12	表現(彫刻)	木彫レリーフ	12	壁掛けレリーフ(透かし彫り)の制作 <桂材(半径15Cm・厚12mm)> 1.モチーフ選択(各自資料準備)※自然形態を入れる事 2.下描き <上質紙(半径15Cm枠)> 3.トレースダウン <カーボン紙> 4.彫り <彫刻刀・糸鋸> 5.磨き <ドレッサー・サンドペーパー> 6.塗装 <水性ニス> 7.仕上げ <つり下げ金具>			作品評価	○	◎	◎			
					1									
						2	鑑賞	VTR鑑賞①(西洋美術)	2	ルネサンス(ミケランジェロとラファエロ)			レポート評価	○